

子育て・環境・魅力づくり部会のまとめ

審議テーマ 「地域コミュニティ活動の推進」

地域コミュニティ活動を推進する取組みについて、部会検討のまとめを報告します。

1 部会検討の経過

地域コミュニティ活動の推進について、区内の現状と課題を踏まえ、具体的な検討事項として「夢見ヶ崎周辺を幸区民のコミュニティの拠点とする」にしぼって、その解決に向けた取組みを検討しました。

2 幸区内の現状と課題

課題

- ・大規模マンションの建設などにより新しい住民が増え、地域コミュニティ活動に対する意識が低下するとともに、地域コミュニティへの参加率が減少している。
- ・区民間の交流を深めることで、コミュニティ活動を推進することが必要である。
- ・夢見ヶ崎周辺は幸区にとってのシンボルであり、コミュニティ活動を推進する際の拠点として重要な場所である。

夢見ヶ崎周辺の現状

夢見ヶ崎周辺までの交通の便

- ・夢見ヶ崎までは、公共交通を利用する場合、JR 川崎駅、東急東横線元住吉駅からバスがあり、夢見ヶ崎動物公園バス停車である。
- ・区外からも多くの人が夢見ヶ崎動物公園を訪れている。
- ・駐車場混雑時は警備員が誘導しているが、利用者のマナーの問題がある。

頂上までのアクセス

- ・登り坂のため、高齢者、障害者などは車が頂上の公園内まで入れるよう配慮している。

夢見ヶ崎動物公園の管理

- ・樹木の剪定を業者への委託とボランティアに任せている。
- ・今年からボランティアの管理も始めている。

貴重な資源・PR

- ・市内唯一の動物園であり、年間約 20 万人が訪れている。
- ・国内で唯一飼育されているシベリアヘラジカなど、貴重な動物がいる。
- ・歴史的価値の高い古墳や、神社・仏閣がある。
- ・芝生広場には、市内でも珍しい太陽光発電装置や、戦没・戦災死者の慰霊塔など、特色ある資源がある。
- ・「ゆめみにゅーす」を年 4 回 200 部発行している。
- ・「幸タウンカフェ通信」(年 4 回 10,000 部発行)の特集記事で夢見ヶ崎動物公園の動物を紹介している。

- ・ 市政だよりにイベント情報を掲載したり、かわさき FM で 5 分間 PR 番組を放送している。

コミュニティ活動の場

- ・ 春秋 2 回の「動物園まつり」、加瀬山祭、「エコツアーきみも加瀬山探検隊」(日吉のわっ開催)など、多数のイベント会場として活用されており、動物園まつりには、春秋合わせて 13,500 人(平成 21 年度)が訪れている。
- ・ 桜の花が満開の時季には多くの花見客で賑わう。また、豊かな緑に森林浴コースが整備されるなど、区民の交流・憩いの空間となっている。
- ・ 神社仏閣では初詣や例祭が行われており、周辺住民の拠り所である。
- ・ 近所の人たちが毎朝ラジオ体操をするなど、健康づくりの場としても親しまれている。
- ・ 幸区市民健康の森「加瀬山の会」をはじめとする多くの団体、個人が、公園の維持・管理に関っている。

夢見ヶ崎周辺の課題

交通の便が悪い

- ・ バスの便が少なく、古市場・河原町方面からのバスの便があまりない。
- ・ バスを降りても地図や標識がわかりづらい。
- ・ 駐車場が少ない。

頂上までのアクセスが大変

- ・ 高齢者や障害者は徒歩で上がるのが大変。車椅子や乳母車を押して上るのは困難。
- ・ 上り口が 6 つあるが、看板、地図等が少なくわかりづらい。
- ・ 木の根が歩道の舗装を盛り上げるなど、途中の道路が老朽化して危険。
- ・ 民有地と公有地が入り組んでいるため、整備・開発が困難。
- ・ 埋蔵文化財があり、地下を掘るには調査が必要。

総合的な公園管理が不十分

- ・ 夢見ヶ崎動物公園では、動物園以外の公園部分も含めた総合的な維持・管理が不十分。

PR が不十分

- ・ 歴史的価値の高い古墳、太陽光発電、シベリアシカなど魅力ある資源の PR 不足。
- ・ ゆめみにゅーすの PR 不足。

3 部会のまとめ

～ 夢見ヶ崎周辺の緑環境や歴史的資源を守り育て、新旧・多世代の住民が集い、交流する、コミュニティ活動の拠点としよう～

具体的な取り組みとして

(取組1) わかりやすく夢見ヶ崎動物公園に来られるようにする。

- ・最寄り駅やバス停から迷うことなく安心して来られるよう、ルート上に誘導サインを設置する。
- ・主要な上り口に、入口を示すゲート標識を設置する。

(取組2) 頂上へのアクセスを検討する。

- ・子どもから高齢者、障害を持った人たちが、無理なく頂上へ上るための方法を、専門家を交えて検討する。

(取組3) 管理組織を把握し、総合的な公園維持管理を行う。

- ・ボランティアなど公園の管理をしているグループや活動内容を把握するとともに、総合的な維持管理を行う。

(取組4) 夢見ヶ崎周辺の魅力発信を行う。

- ・イベント情報、花の開花情報、動物園の情報など、夢見ヶ崎動物公園の情報を総合的に発信する。
- ・「ゆめみにゆーす」、市政だより、ホームページなどを活用する。

(取組5) 魅力アップの方策を検討する委員会などを設置する。

- ・町内会連合会・PTA協議会・子ども会連合会など関連組織をまじえ、夢見ヶ崎動物公園一帯の魅力を向上し、コミュニティの拠点として有効活用する方策を検討する委員会などを設置する。

4 平成20年度提言に対する取組内容

(提言1) 町内会・自治会活動の魅力と必要性を伝える。

(具体的取組)

管理組合役員向けPR冊子は、21年度中に作成して配付できるように調整中。

一般居住者向けPR冊子は、21年度より転入者へ配付中。町内会・自治会を通じて未加入者にも配付中。

21年5月に幸区町内会連合会のホームページを開設し情報発信中。

(提言2) 大規模マンション居住者の町内会・自治会への加入実態を把握する。

(具体的取組)

各町内会・自治会に対して、大規模マンション等の町内会・自治会加入実態に関するアンケート調査を実施し、集計結果を報告済。

提言に向けた部会のまとめ

夢見ヶ崎周辺の緑環境や歴史的資源を守り育て、新旧・多世代の住民が集い、交流する、コミュニティ活動の拠点としよう。

(取組1) わかりやすく夢見ヶ崎動物公園に来られるようにする。

- ・最寄り駅やバス停から迷うことなく安心して来られるよう、ルート上に誘導サインを設置する。
- ・主要な上り口に、入口を示すゲート標識を設置する。

(取組2) 頂上へのアクセスを検討する。

- ・子どもから高齢者、障害を持った人たちが、無理なく頂上へ上るための方法を、専門家を交えて検討する。

(取組3) 管理組織を把握し、総合的な公園維持管理を行う。

- ・ボランティアなど公園の管理をしているグループや活動内容を把握するとともに、総合的な維持管理を行う。

(取組4) 夢見ヶ崎周辺の魅力発信を行う。

- ・イベント情報、花の開花情報、動物園の情報など、夢見ヶ崎動物公園の情報を総合的に発信する。
- ・「ゆめみにゆーす」、市政だより、ホームページなどを活用する。

(取組5) 魅力アップの方策を検討する委員会などを設置する。

- ・町内会連合会・PTA協議会・子ども会連合会など関連組織をまじえ、夢見ヶ崎動物公園一帯の魅力を向上し、コミュニティの拠点として有効活用する方策を検討する委員会などを設置する。